

集団に対する潜在的感情

参加者向けフィードバック

清泉女学院大学
人間学部文化心理学科
4年
三戸部 寛子

報告内容

- 日本人と外国人に対する潜在的な感情を潜在連合課題(Implicit Association Test)を用いて測定した結果の報告です。
- この報告は卒論研究から授業に関連する部分だけを取り出して報告しています。実験参加者のうち、より詳しい情報が必要な方は、三戸部までご連絡ください。

実験

実験参加者

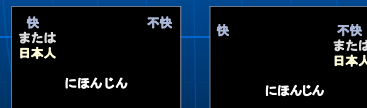
女子大学生53名(平均年齢19.64歳($SD = 0.9$))。

手続き

1. 実験説明と参加承諾書の記入
2. 潜在連合課題(IAT)
 - ①日本人、快、不快
 - ②黒人、快、不快
 - ③外国人、快、不快
3. 質問紙+デブリーフィング

潜在連合課題(IAT)

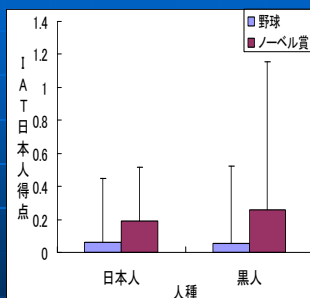
- パソコンの画面の中央に一つずつ呈示される単語を、指定されたカテゴリーに分類する。
- この時、できるだけ速く、正確に分類するよう教示した。



IATの主要な課題画面

日本人に対する潜在的感情

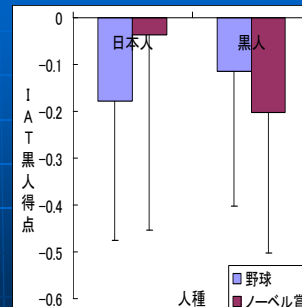
- 全体として、IAT得点はゼロより大きく、日本人に対する潜在的感情は肯定的であった。



他の条件もあわせて掲載しています。日本人IAT全体の結果としては、4本の棒をまとめたものになります。

黒人に対する潜在的感情

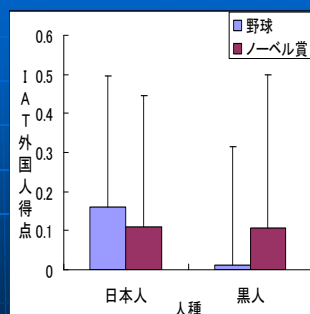
- 全体として、IAT得点はゼロより小さく、黒人に対する潜在的感情は否定的であった。



他の条件もあわせて掲載しています。黒人IAT全体の結果としては、4本の棒をまとめたものになります。

外国人に対する潜在的的感情

- 全体として、IAT得点はゼロより大きく、外国人に対する潜在的的感情は肯定的であった。



他の条件もあわせて掲載しています。
外国人IAT全体の結果としては、4本の棒をまとめたものになります。

まとめ

- 潜在的的感情は、日本人と外国人に対して肯定的であり、黒人に対しては否定的であった。
日本人と黒人のIATの結果は、従来の研究と同様。
- 外国人に対する感情が肯定的であった理由
実験参加者が、外国人として、肯定的なイメージの有名人を想像したため？